第４回　恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
環境整備・ＰＴＡ・コミスク部会　（会議録）

会議の名称	第４回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会環境整備・ＰＴＡ・コミスク部会
開催日時	令和５年９月２８日（木）　午後７時から
開催場所	上矢作コミュニティセンター　講堂
報告	・恵那市恵那南地区統合中学校基本構想 ・会議の公開に関するインターネット配信
議題	課題No.９「校舎の増築、改修に関すること」について ～アイデア提案をふまえた配置計画案の協議～ ・次回の環境部会について
公開非公開の別	公開
出席者	委員 若森　慶隆 安藤　常雄 三宅　勝彦 太田　礼子 鈴木　則彦 安藤　真由美 川上　容子 吉田　美恵子 後藤　純一 園原　正明 平林　将人 片桐　慎一 細江　幸次 後藤　理恵 松村　友美 山田　宗則 非　公　表 大石　佐緒理 佐藤　美保 教育委員会 丸山　頼彦 市川　太一

小栗　　研
市川　寛子
長谷川　椋

会議の内容　　会議録のとおり

傍聴者の数　　４名

１．部会長あいさつ

部会長：今月の始めに引き続いて２回目。こうした部会も何回も会議を重ねて、より良い統合中学校の姿というものがだんだんと見えてくるように思える。今日も活発なご意見、ご議論をお願いしたい。

２．報告

・恵那市恵那南地区統合中学校基本構想

事務局：9 月 25 日に準備委員会の理事会を開催した。そこで原案をお示しした中で、最終的にご了承いただいている。理事会で協議する中では、保護者や地域の方、子どものご意見を、どういうふうに反映されていくのかというようなご意見もあった中で、今後は部会で意見を取り上げていきながら、ということをご説明させていただいている。そしてこの基本構想は統合に向けた方向性を示すものということで、1 つ目が中学校統合の基本方針で、2 つ目が大切にすること、3 つ目が統合中学校の目指す姿、そして 4 つ目に施設の環境整備。このような流れで、恵那南地区の学校を充実させていくということの基本的な構想を示したというものになっている。11 ページに書いてあるのが施設の環境整備という項目になるが、これがまさしく、この部会で校舎のことについても協議をさせていただいている、そこの内容に関わってくるかなと思っている。この 11 ページにも、バリアフリーのことであったり、将来的な空き教室をどういうふうにしていくのかということ、あと図書室、また地域の歴史・文化をどういうふうに学校で位置付けていこうか。このようなことも、しっかりと触れさせていただいている。これをもとに 26 日、理事会の翌日に教育委員会の定例会があり、ここで基本構想が最終的に承認されたという流れでもって、今回「案」が取れたものを皆様にお配りさせていただいた。この教育委員会の委員さんの中では、今後いろんなことを充実させていくという形での統合に向かってほしいということ、あとは５つの地域のいろんな伝統文化・コミュニティ、こういうものをより強く持てるような方向で行ってほしい、このような意見をいただいているというような状況になっている。これについては家に帰ってからでも構わないので、ご一読いただきたい。

・会議の公開に関するインターネット配信

事務局：理事会の中で、最終的にインターネット配信をやっていくということは承認を得たところである。これは、傍聴になかなか来られない人への情報提供ということに配慮して、同時配信で音声のみだけ配信を行っていくという流れについて、承認を得たということになる。今日はその流れではなくて、まだ準備の期間があるので、10 月から実施を予定ということで、今準備を進めさせていただいている。次回やる時には、その方向でできるように今進めているところである。

委　員：これはアーカイブ残るのか。

事務局：これはあくまでも同時配信でということで決定させていただいているので、アーカイブということではなくて、同時配信ということで。

委　員：傍聴がその時間帯に無理な人が視聴することは可能か。

事務局：個人的にインターネットを自分で録画されるということであれば、あとで見ることも可能かなとは思っているが、アーカイブという形で残すという方向性ではない、ということになった。

３．協議

（１）校舎の増築、改修に関すること

①アイデア提案まとめの確認

事務局より説明：前回のグループワークのアイデア提案について

②提案の配置等計画への反映

事務局より説明：アイデア提案に対する設計者のコメントについて

事務局：皆様にお配りさせていただいたもので、 建築の専門家と話し合いながら、どういう形ならできるかというところを基本的に検討したものを今お示しさせていただいた。基本的にやっていけるという方向性である。今説明させていただいたように、皆さんのいいアイデアをやっぱり基にしながら、あとはプロにお任せしながらやっていかないといけないという状況であるので、ご理解していただきたいなと思っている。ここで気づいた点等があれば伺うし、またグループワークの時にも、その場ができるのかなとも思っている。

委　員：僕たちが小学校の案として出した増築案の場合は、グラウンドの中央、既存校舎の正面玄関の前に建ててもらって周りを駐車場などにしてもらえば。これ（C案、D案）だとどっちにグラウンドを持っていったとしても、グラウンドもこの現状を使う必要があるし、さらに駐車場の問題が残ったまんまになっているんじゃないかなと思って。中央は無理で、このグラウンドはここしか絶対使わなきゃダメだったという理由があるならそれを説明してもらわないと。この図面で見てもらうと、どう見てもこのＡっていうところに持っていきたいんだろうなっていうのはすごく伝わるかなって思う。

事務局：実は、今日のレジュメに示してある③の部分に、今お話があったので、ここは実際ちょっとご説明させてもらわないと、絵のことがわからないと思っているので。じゃあ図面のことに説明を加えながら、それでもって、じゃあどうかっていうところを皆さんと協議してもらう段取りが黒板にも書いてあるんだけれども。そこの段階に入っていきながら、皆さんの意見をもう 1 回まとめ出し合いたいなと思うので、図面の説明をさせていただきたい。

③増築校舎の配置場所の候補選定

事務局より説明：校舎増築候補位置のＡ案、Ｃ案、Ｄ案について

事務局：先ほどご指摘があった中央に校舎をという案だが、普段、子どもたちが学校生活をどのように利用しているかっていうことの観点からいくと、やっぱり週 3 時間は確実に体育の授業がある。人数が増えることで、おそらく、体育館で１つの学級、グラウンドで１つの学級というような、西中や東中が行っているような体育の施設の利用になる。そうなった場合、今ある運動場に校舎を建てて、周りを駐車場にするということは、グラウンドの使用、体育の授業が下の B&G になる。そうすると、日常的に子どもたちは下の B&G のところまで降りて、体育の授業をして、終わったらまた上に上がって、というような、日常的な子どもたちへの負担感が非常に大きくなるのではないか。そんな視点から、グラウンド中央に校舎を作るということは、今回の図面では入っていない。あくまで、子どもたちが普段どのように学校生活を送っているかという視点で考えた結果、今回お示ししたＡ、Ｃ、Ｄという結論に、今回は、こちらではそういう提案をさせてもらっている。この話を受けた上で、でもやっぱりここはグラウンドに、というご意見が根強くあろうかと思うので、そういった意見は、この後のグループ会の中で、協議の１つにしていただければいいかなということを思っている。

事務局：あと、ピロティの使い方がどうなるのかっていうのを。

事務局：普段の体育の授業という視点で今お話をしたが、Ｃ案Ｄ案ともに１階がピロティになると、普段の体育の授業のメリットとして夏の時期、どうしてもグラウンドには子どもたちの日陰、休憩場所が必要になってくる。学校では今テントを設営して先生が話をする、あるいはちょっとグループ討議をする時には、そのテントの下で行っていることもあるが、1 階にこのピロティができることと、普段使う体育の授業のグラウンドが隣接してるってことで、例えばＣ案・Ｄ案の１階のピロティで全体会をして、体育の授業でグラウンドを使い、夏場など暑い時には、一旦そのピロティに避難をするとか。それから人数が多くなるので、雨が降った時、体育館では一方の授業をしている。そうすると、グラウンドは使用ができないので、そうなると保健の授業をすることが多いが、1 階のピロティの場所が確保されていれば、そこでストレッチ運動とか、その空間を使って雨の時でも活動

ができる、そんな利点があるかなということを思っている。
それから駐車場問題もあるが、校舎周りにぐるっと引き渡しができるような動線ができるという図面が別紙で出ていると思う。そういった引き渡しの際にも、この 1 階のピロティを活用することで、子どもたちは雨に濡れず保護者の方の迎えを待つことができる。そんな活用の仕方もあろうかと考えている。

事務局：今、大まかな説明はさせていただいた。これからグループでの、今のような説明を踏まえながら、じゃあどうなんだというのをもう一度意見を出しながら考えたいなという場面に移りたいと思う。それぞれの班にも職員が入って助言をしながら話ができるといいかなと思う。

事務局より説明：各グループでＡ、Ｃ、Ｄ案の中で第１候補から第３候補までを決める

部会長：校舎の件と、それからスクールバスがあるが、一旦校舎のことを集約して発表してもらった後に、改めて④の方はまた後からするというような形でお願いしたいと思う。

委　員：8 月 31 日までやった保護者のアンケート、期待していることとか色々と。Google でやっているからもう集計できていると思うが、あれが開示されてないとこっちも参考にする保護者の意見っていうものがない状態で、こっちの意見だけまとめるっていうのはちょっと不安がある。あれがすぐ開示されるものだと思っていた。いつ開示になるのか。疑念は出ているけど保護者の意見が出てないからどうなのかなっていうのがちょっとあって。それがあるとやっぱり、何を保護者が大事にしているのかがわかれば、より校舎に反映しやすいかなと思う。

事務局：今いろんな方面の意見、幅広い意見が出ていたので、集計、分類するのにちょっと時間がかかっていたが、ほぼほぼできてきたので、これから皆様にお返しするという段取りのところの状態にはなっている。今そんな状態なので、手元にないがスケジュールとしてはそんな感じで進んでいる。なので、その意見をうまく組みながらっていうご意見に対しては、今日のところでは時間的な違いもあるが、それ以前でも、各地域のそれぞれの保護者様独自でご意見を伺ったというものは、実際こちらにも来ている。明智であったり、岩村も来ていた。そこにも色々な意見が書かれていた。そこはすごくご理解した上で、できること、できないことも考えながら、設計の方にはまず反映できるものはやっていきたいなっていう思いではいる。なので、今おっしゃった意見のところのタイミングラグはあるが、今日はまずそこじゃなくって、今までこのメンバーで語り合ってきたところに、さらに意見を深めてどうしようかというところで、ご議論いただけると非常にありがたいのかなって思う。

委　員：対応してもらえるとこっちもこういう会議に参加したときにも、きちんと話し合いができると思うので、早めにお願いしたい。

こども園グループ、小学校グループ、中学校グループに分かれてグループワーク形式で作業後、グループごとに出た意見を発表

中学校グループ：

・グラウンドの方のＣ、Ｄという話が多かったが、中廊下、教室が廊下挟んで両側にあると、音漏れの問題がある。
・西向き校舎だと西日、東の朝日が入ってくるのが問題。片側廊下の南向き校舎がいい。
・200 メートルのトラックを作るにはＣ案側かＤ案側へ寄せると書いてあったが、1 階がピロティならトラックをピロティの中を走らせてもいい。そうすれば南向きに建てても 200 メートルトラックが作れる。
・やはり南向きの片側廊下の校舎が子供たちのためには一番いい。
・Ｄを横向きにするなら、駐輪場も含めたところを考えてもいいと思う。それに伴って、周回道路をやる場合、この下のところ（駐輪場北東側）がちょっと細いので、校舎から B&G のところまで下ってくる間をどうにか拡張したい。
・やっぱりピロティで色々活動ができるので、ピロティがあるのはいい。

小学校グループ：

・1 位としてはＤ案。メリットは、余裕のある教室ができそう、ピロティの有効活用ができそう。デメリットは、西日が当たる。グランドが狭くなる、駐車場が狭くなる。
・2 位がＡ案。メリットは、既存の校舎から近い、グランドもそのままなので広く使える、南向きで明るい。デメリットは、3 階建てにはなるけどイメージとしてスペースが狭い、駐車場がなくなる、その駐車場の代替もまだできていない、体育館とその新校舎の間のところがすごく狭くて暗い。
・Ｃ案についてはもう完全にない。
・その上で前回言わせていただいたがＥ案という形で、グラウンドの真ん中のところ。既存の校舎の対面に対して、2 階建てで横に長く作ってもらう。3 階にすると本校舎の方の日照とかも問題もあるかもしれないので、2 階建てで 1 階はピロティ。正面玄関も新しい校舎の方に持っていった方がいい。
・実際に何回も問題に出てきた、雨の日とかのお迎えに行った時の動線。坂を上がってきて、体育館の裏を通って、今のＣ案のところの横を抜けて、ここを降りて、本校舎と新校舎の間のところ、そこがピロティになっているので、そこで車を止めてもらって、そのままずっと抜けていって、下に降りてもらうような一方通行を作れば、そこまでの渋滞もないと思う。

・グラウンドをだいぶ使うことになるので、あくまでも下の町民グラウンドを中学校の新しいグラウンドとして使っていく。実際に今、子どもたちの水泳もB&Gに行っている。そう思うと、体育の授業で下に降りてもそんなに変わりないんじゃないか。

こども園グループ：

・A案に関して、メリットは近いグラウンドをフル活用できる、移動教室とかもコンパクトになる。デメリットは駐車場がない、ピロティがない、狭い、体育館に対してすごい高い建物になるから風通しが悪い、暗くなる。

・C案は、通路が遠い、ロータリーを作ろうと思うと勾配の兼ね合いで厳しい、教室から体育館がとにかく遠い。もしここにハンディのある子が入るとしたらものすごい遠いところに行かなきゃいけないので大変。
ただ、図書館とかが近いのはいろんな人が活用するにはいい。ピロティが使いやすい、渡り廊下がこれだけ広ければ作品とか展示できたりしていろんな使い道もある。

・私たちのグループはD案が1番。駐車場に最も近い場所。どうしても教室に入りにくいとか、送迎が必要な子が入りやすい立地。どうしてもバスに乗れないとか体のハンデがあるような子にはいい場所。Cと同様にピロティがあるのはいい。西日については夕方だし冷房付けるからいい。
ただ、子どもたちが何かあった時の逃げ場や、休み時間に使う図書館とかそういうところが遠いというのは、通路がある以上仕方ない。なのでちょっと不便。グラウンドのスペースが必要というのもデメリットとしてある。

・CとDは両方とも渡り廊下の勾配の兼ね合いもあるので、色々移動する時には距離的に不便。

・先ほどE案という素晴らしい意見を出していただいたが、横に広い感じの増築だったら平屋でも行けるのでは。景観も保たれる。エレベータなどの費用削減ができるのでは。

・3年後は急すぎて怖い。

事務局：3つのグループからご意見をいただいて、事務局の方から出した意見を基にすると、Dが上位に来るのかなということを感じた。一方で、E案というご意見も出していただいたので、それがまた今度、専門の建築のところに入ってご意見いただく中で、どんなふうに反映できるのかということを持ち帰るということでよろしいか。

事務局：作りはどういうふうにしても、とにかく南向いてグラウンドの方に横向き。そうなると、どういうことなら実際可能性があるのかっていうところを探ってくる

だけの話になる。今、Ａ案、Ｃ案、Ｄ案の中ではＤ案だけれども、新たなＥ案っていうのも出た。グラウンドの使い勝手をどう皆さんが判断するか。いいんじゃないのかっていう判断で収まるのか、やっぱりすぐそばになきゃいけないんじゃないのかっていうところにもなる。

委　員：子どもの意見も反映するのか。そうした場合、さっき言われた山岡で、生徒たちが水泳のときはB&Gに行っているので気にしないのか。

事務局：確かに水泳は行っている。でも、グラウンドを使うのは毎週ある。

委　員：グラウンドの200のトラックを常に使っているかっていうと、マラソン大会とかだけだったらB&Gの方に降りてやっても。

委　員：別に200にこだわらなくてもいい。

委　員：グラウンドを駐車場にしたらどうかっていうのは、B&Gのグラウンドってすごい大きい。下から上がってきた時に、途中で右に曲がるとこども園。それをそのまま上までバスが上がって、グラウンドをもう少しだけアスファルトにする。あそこまでグラウンドはいらないので、頂点が駐車場になっているところとグラウンドの境をもう少しだけアスファルトにして、そこをバスのロータリーにしてもらって、そこでバスから降ろさせてもらって、グラウンドを通って子どもたちが学校に上がっていけば、こども園さんとの接触はなくなると思う。

建物を子どもたちの保護者、先生たちの駐車場、尚且つ、配膳にくる給食センターの人が中に入ってきて降ろす場所とかを、今あるグラウンドの真ん中に校舎を建てた時に、その下が駐車場になれば、駐車場、建物、バスのロータリーっていうのを一つの動線として考えた時に、1番子どもたちが直線で行けるんじゃないかなっていう風に考えた。

事務局：実は学校教育法という法律の中に中学校の設置基準というのがあり、その中で、例えば校舎は最低何平米以上、体育館は何平米以上、運動場の基準もある。昔調べたものでは、将来の生徒数に係数を掛けると、4,500平米はないと中学校として認められないというのがあるので、今言った全面っていうのはちょっと厳しいと思う。要は学校として保有している運動場の最低の面積がある。例えば全面駐車場にするってなった時に、中学校として保有しているグラウンドがなくなってしまう。

委　員：下のグラウンドは、前は町民グラウンドだったが今は恵那市のものでは。

事務局：そうだが学校として管理してない。例えば将来、B&Gのグラウンドも学校が管理するってことであれば今の基準は満たせるが、うちだけじゃ判断ができない。

事務局：今僕らが思っているのは、B&Gのグラウンドは学校の管轄外。そこを学校のグラウンドにしてしまうとなった時の、協議する幅がまた広がってくるなっていうのは懸念材料の１つである。

委　員：恵那市のグラウンドということ。

事務局：持ち物は市だが運用の仕方が違う。上は完全に学校のグラウンド、下はみんなに開放してお使いいただくグラウンド、という成り立ちのものである。学校優先のグラウンドにしきれればもちろん問題ないが、代わりをどうするのとか、いろんな協議の幅が広がってくる中で、ここ使えるねというのはすぐ判断ができない。市のものだからここの下に、というふうには簡単にはいかない。

委　員：例えばA案が出たが、代わりの駐車場はどこにしようと考えているのか。

事務局：お配りした外構図面で、校舎の周りにこれだけのスペース。今ある中でも作れないかっていう案はあるが、今でも置こうと思えば置ける。なので、A案だと確実に駐車場が少なくなる。それをクリアしようと思った時に、CとかD案。そうすれば、Aの部分は駐車場としてそのまま残るので、これはどうかなと。

委　員：例えばD案とC案だと、A案のところを駐車場そのままっていうところで、それで実際停められていると思っているのか。

事務局：停められるスペースをどこまで確保するかっていう問題もある。無尽蔵に土地はない。無尽蔵に土地が広ければ、どんどん駐車場作りましょう、グランドもどんどん広くしましょうだけど。何を想定しながらやるかっていうことにもなってこようかと思う。せっかく新しく作るので、できれば駐車もたくさん取りたい、グラウンドもいっぱい取りたい。これは僕らも思っている。

委　員：協議していただけるところはしていただいて、前向きに僕らの意見を反映していただければと思う。ぜひお願いしたい。

④スクールバス乗降場所の候補選定

事務局より説明：スクールバス乗降場所の案1、案2の比較について

こども園グループ、小学校グループ、中学校グループに分かれてグループワーク形式で話し合い後、グループごとに出た意見を発表

こども園グループ：

- 案1の恵南デイサービスからだと、他の遠い地域から1時間とか言われて、さらに10分くらい歩いて上まで登るっていうのは現実的じゃない。
- 案2はこども園との接触が怖い。いくらロータリーができるとはいえ、こども園に車で送迎する人が多い以上、危ない。
- その他として、小学校グループが言っていたE案を推したほうが安全で安心。
- 山岡自体も遠い人は遠い。田沢とか久保原、原とか。馬場山田でも岩村側の人なんてほぼ岩村。そういう格差自体もちょっと減らさないといけない。根本的にバスにするなら全部バスの方がいい。

小学校グループ：

・山岡グラウンドの一部をバスのロータリーとして展開して、子どもたちにはグラウンドの中を歩いて通学をしていただくっていうのを、一つの案として考えていただければ思う。

中学校グループ：

・1、2 を比べたが、両方作ってもらいましょうっていう話が出た。
・上の 2 案の方をロータリーのところに無理やりバスを置くと、どう考えても狭いし危ないので、こっちはロータリーだけにして、下に車を止めてもらうようなスペースがあればいいと思う。
・普段 500 メートル歩くのは体力をつけるためにもいいかもしれないが、警報は出てないけどちょっと雨が降ったりする時があるので、やはり学校近くへ、ピロティとかができれば、ピロティのところへ横付けできるような動線ができれば、そこで子どもを乗せられる。学校にもバスが来られるような対策を取ってもらうのがいい。
・1 でも 2 でも歩道が少し無いところがあり、道路が狭いので、道路に歩道を作ってもらうのも提案したい。
・冬になると暗いところをバスまで歩いていかないといけないので、街灯を増設してもらって、明るい通学路にしていただきたい。
・バスロータリーを作るなら、そこで待つ子も出てくる可能性あるので、屋根付きの雨風しのげるところがあるといい。

事務局：新校舎増築のところとの兼ね合いで、作る場所が大きく変わってくるかなと思うので、まずは先ほどの現グラウンドが駐車場スペースとして機能できるのか。そうなった時の、下の B&G のグラウンドが学校のグラウンドとして活用できるのか。そこをまず確認して、その後これがどう反映してくるかっていうことになろうかと思う。そんなところを事務局の方で持ち帰って検討ということでよろしいか。

事務局：バスロータリーは、今説明した感じのでやっていくしかないかなとは思った。その前の校舎のＡ案、Ｃ案、Ｄ案、新たなＥ案。今の話でいけば、新しいＥ案なのか、Ｄ案なのか。あとは、B&G のグラウンドをどう活用ができるのか。全体の送迎のことも考えてどうなのか。あと、学校を作るにあたっての基準とか。じゃあ B&G の使い方がどうなるのかとか。そこにも絡んできた話になった。皆様からいただいたグラウンドに向きを変えて作ってしまおう。真ん中あたりにという意見も出たのも持ち帰る。その中で、現実的に学校としてできること、できないことがやっぱり出てくるかと思う。そこは基準とか、あと設計士さんを交えた上で

こちらでも判断するしかないのかなと。ここで皆さんでの最終候補 1 個に絞ってねっていうのがえらかったなって思う。新たなグラウンドに南向きに作るって案も、どれなら可能性があるのか、総合的にちょっと判断をしたい。それでもってできる、できないを最終判断するしかないのかなって思った。そこがもう、技術的なこと、法律的なことを踏まえて、こちらでも判断をしつつ、そして皆さんにこうですというのをお示しするという方法しかもうないのかなって気がする。皆様だけでなかなか判断しきれないですよね。Ｅ案も最後にもらったので、それはもらう。申し訳ないけど、あとはこちらで最終判断させてもらうっていう方法しかないのかなって思っている。これで行かせていただければ前に進むと思うが、どうか。

委　員：最終判断をそっちにされちゃうと僕らの意味がない。

事務局：申し訳ない、言い方間違えた。こちらでもここだとこうなんだよという理由がちゃんと分かった上で皆さんにお示しをする。そこでもう、できる、できないっていうのをもう決めざるを得ないかなっていうこと。

委　員：25 日の理事会の中でちょっと話が出た。小学校グループの話の中で、関連付けるというか、決める前に考えてほしい部分の 1 つだが、学校統合の基本方針の中で、地域との連携・協働とか、そういう今回なかなか決まらなかった基本方針、統合中学校においての。教育委員会とか全然決められなくて、この間も話が出て、質問も出たが、結局何も具体的になっていない。具体的なこととかは各部会で持ち上げ、いろんな意見を出してもらって、肉付けをしていって決めていくっていうのは皆さん納得された。先ほどの話で、定例会で承認されましたって話だったが、さっきの僕らが言ったＥ案の校舎もそうだし、駐車場もそうだし、ロータリーもそうだが、グラウンドが学校管理になると他が使えなくなるかもっていうような話も、地域の人が今度新しくできる学校に例えば来たりとかした場合の駐車場のスペースもそうだし、今まで使えていた人が使えなくなるのも、誰かが勝手にやるからじゃなくて、5 つの地域がまとまってここで作るためにはスペースいるし、ここにも保護者だけじゃなくて地域の方もみえるので、そういう人と連携をしながら理解を得るためにもそういう時間はかかるかもしれないし、協議する幅が広がってしまうか分からないが、そこまでの意見を持って行って協議をしてもらって、やってもらえるようになって、戻ってもらって、意見を考えるって話をさせてもらっている。なので、この場の意見でもそういうところまで考えて、今回学校の立地状況だけで分けてしまうと、本当の求めているものに行きつかない。全部を考えての意見なので、コンセプトを踏まえて、ぜひ協力していただきたい。

事務局：確かに、新たに 5 つの地域の方々が 1 つになって考えて、それに意見を出し合って学校を作っていきましょうよというのは基本姿勢でいきたいと思う。今おっ

しゃったことは、そうかなというふうに私も改めて理解をさせていただいた。まっさらな土地に絵を描くんだったらすごい絵が描けるが、既存校舎をどう生かしていくかという中での選択肢というところで、いろんな意見をうまく融合していくという難しさを改めて感じた。なんとかご理解をしていかないと前に進まないというのいうのも 1 つあったので、おっしゃったように一度こちらでも描いた絵で説明させていただきながら、絵の方を決めていくというふうに、次の機会に話を持っていく。でないと煮え切らないままだと思う。

委　員：ここの場では判断ができないと思う。なので、ここで出た意見をまずぶつけてきてほしい。それを示していただければその答えをまた協議するし、納得できるところはきちんと納得していきたいと思う。

４．次回の環境部会について

部会長：次回の部会の日時等については。

事務局：これからスクールバスをどうするか、もう一つ、部活動をどうするかという話題が次のポイントとしてある。スクールバスのことについては、バス運行会社にいろんな意見を聞きながら事務的な作業に取り掛かっている段階である。日にちは部会長、副部会長と協議しながら決めさせていただきたい。目途としては 10 月末以降。内容は今言ったようなスクールバスのことも決めたいし、今日の配置のことも話さないといけない。これが次回の議題になろうかなと思っている。会場は串原地区でやりたい。